

### 3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 成績評定工種選択表及び結果表

注：配管工事の「出来形」「品質」「出来ばえ」の審査項目は別シートにあります。

該当する工種を次の事項に留意しながら選択してください。

留意事項

- ※1: 全体の概ね7割以上を占める工種がある場合は、原則その1工種が選択の対象となります。
- ※2: 複数工種選択する必要がある場合は、3工種まで選択が可能です。その場合、代表的な工種の「主たる工種」覧にチェックしてください。
- ※3: 「主たる工種」が選択された場合、「3. 出来形及び出来ばえ II. 品質」におけるばらつきは、「主たる工種」の判断基準が適用されます。
- ※4: 「主たる工種」が選択されない場合は、選択された複数工種の中の最も低い判断基準が適用されます。
- ※5: 上記により難く、検査員の判断基準を適用することが望ましい場合は、下覧「ばらつき入力欄」に入力願います。
- ※6: ①～23のいずれか1工種を選択した場合は、24は選択できません。

検査員 選択	主たる工種	選択されていません	
	選択工種		
	ばらつき判定		

品質

主たる 選択 工種 工種	工 種
<input type="checkbox"/>	① コンクリート構造物
<input type="checkbox"/>	② 土工事
<input type="checkbox"/>	③ 護岸・根固・水制工事
<input type="checkbox"/>	④ 鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準じる。堰水門等工場製作を含む)
<input type="checkbox"/>	⑤ 砂防構造物工事及び地滑り防止工事(集水井工事を含む)
<input type="checkbox"/>	⑥ 舗装工事
<input type="checkbox"/>	⑦ 法面工事
<input type="checkbox"/>	⑧ 基礎工事及び地盤改良工事
<input type="checkbox"/>	⑨ コンクリート橋上部工事
<input type="checkbox"/>	⑩ 塗装工事
<input type="checkbox"/>	⑪ トンネル工事
<input type="checkbox"/>	⑫ 植栽工事
<input type="checkbox"/>	⑬ 造園工事
<input type="checkbox"/>	⑭ 防護柵(網)・標識・区画線等設置工事
<input type="checkbox"/>	⑮ 下水道管路工事
<input type="checkbox"/>	⑯ 下水道更生工事
<input type="checkbox"/>	⑰ 水路・側溝等(コンクリート二次製品)工事
<input type="checkbox"/>	⑱ 機械設備工事
<input type="checkbox"/>	⑲ 電線共同溝工事
<input type="checkbox"/>	⑳ 維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理工)
<input type="checkbox"/>	21 修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)
<input type="checkbox"/>	22 電気設備工事
<input type="checkbox"/>	23 シールド工事
<input type="checkbox"/>	24 上記以外の工事(情報ボックス、浚渫工事等)又は合併施工

※⑩機械設備工事、22電気設備工事については、その他の土木工種に付帯して施工される場合にのみ選択できます。単独で発注された機械設備工事、電気設備工事は、「仙台市工事成績評定要領」別添2「工事成績評定採点表(営繕)」により評定願います。

品質

◎検査員 自らが、ばらつきの判定を行う場合は、下の該当箇所にチェックしてください

- ばらつきが50%以下と判断できる。
- ばらつきが80%以下と判断できる。
- ばらつきが80%を超えると判断できる。
- ばらつきによる判断は不可能である。

検査員 評定内容

(以下の評定内容については、完成検査を実施し、評定した場合についてのみ、表示される。)

評価対象項目(1)

評価項目(2)

適合率

ばらつき

判定

### 3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ 成績評定工種選択表及び結果表

該当する工種を次の事項に留意しながら選択してください。

留意事項

- ※1 前頁の「Ⅱ. 品質」とは、構成が異なっておりますので、改めて選択する必要があります。
- ※2 全体の概ね7割以上を占める工種がある場合は、原則その1工種が選択の対象となります。
- ※3 複数工種選択する必要がある場合は、3工種まで選択が可能です。この場合、選択した工種全体の適合率により、評価することになります。
- ※4 複数工種選択した場合の評価基準は下表のとおりです。
- ※5 ①～22 のいずれか1工種を選択した場合は、23 は選択できません。

検査員	選択工種		
-----	------	--	--

出来ばえ

- ① コンクリート構造物、砂防構造物、トンネル工事
- ② 土工事(盛土・築堤工事等)
- ③ 切土工事
- ④ 護岸・根固・水制工事
- ⑤ 鋼橋工事
- ⑥ 砂防構造物工事及び地すべり防止工事
- ⑦ 舗装工事
- ⑧ 法面工事
- ⑨ 基礎工事 (地盤改良等を含む)
- ⑩ コンクリート橋上部工事
- ⑪ 塗装工事(工場塗装除く)
- ⑫ 植栽工事
- ⑬ 造園工事
- ⑭ 防護柵(網)・標識・区画線等設置工事
- ⑮ 下水道管路工事
- ⑯ 下水道更生工事
- ⑰ 水路・側溝等(コンクリート二次製品)工事
- ⑱ 機械設備工事
- ⑲ 電線共同溝工事
- ⑳ 維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理工)修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)
- ㉑ 電気設備工事
- ㉒ シールド工事
- ㉓ 上記以外の工事(情報ボックス、浚渫工事等)又は合併施工

※⑱機械設備工事、㉑電気設備工事については、その他の土木工種に付帯して施工される場合にのみ選択できます。単独で発注された機械設備工事、電気設備工事は、「仙台市工事成績評定要領」別添2「工事成績評定採点表(営繕)」により評定願います。

出来ばえ (以下の評定内容については、完成検査を実施し、評定した場合についてのみ、表示される。)

検査員 評定内容

- i 評価対象項目数
- ii 該当項目数
- iii 適合率

判定

0
---

評価基準

- i 1項目のみ選定の場合は  
別紙3-54～により算定(i・ii・iii適用外)
- ii 複数項目選定の場合は下記により算定
  - 適合率80%以上……………a
  - 適合率60%以上80%未満……b
  - 適合率40%以上60%未満……c
  - 適合率40%未満……………d

考査項目別運用表

(検査員)

考査項目	細別	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている
2. 施工状況	I. 施工管理	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 契約書第18条第1項第1号～5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したもとなっていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場条件及び計画内容に重要な変更が生じた場合(工期や数量等の軽微な変更は除く)は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で的確に整備していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 下請けに対する引き取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事の関係書類を不足なく完結に整理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他</li> </ul> <p style="background-color: #fde9d9; padding: 2px;">内容を記載</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上……………a            評価値が80%以上90%未満……………b            評価値が80%未満……………c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。              ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。              ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )              ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>			<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
	↑ 削除する項目にシ点					

注:配管工事の「出来形」「品質」「出来ばえ」の調査項目は別シートにあります。

調査項目別運用表

(検査員)

調査項目	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	出来形の測定が、必要な測定目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規値を概ね50%以内で、下記の「評定項目」の4項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規値を概ね50%以内で、下記の「評定項目」の3項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規値を概ね80%以内で、下記の「評定項目」の3項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規値を概ね80%以内で、下記の「評定項目」の2項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規値を満足し、a～b'に該当しない。概ね50%以内で2項目未満	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が又で再測定を行い直すこと	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形管理が出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真(監督職員が臨場した箇所は除く)で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工程について、監督職員と協議の上管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>内容を記載</p> <p>●ばらつき程度(該当する項目ひとつにレ点)</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない。)</p> <p>※ ばらつき判断基準は別紙-4参照</p>							
<p>① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木工事施工基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。</p> <p>④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p>							

注:配管工事の「出来形」「品質」「出来ばえ」の検査項目は別シートにあります。

検査項目別運用表

(検査員)

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3. 出来形及出来ばえ II. 品質	① コンクリート 構造物工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																											
	<input type="checkbox"/> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)  <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設時に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> その他 理由: <input type="checkbox"/> 内容を記載	① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																	
削除する項目にレ点		●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。				●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															
② 土工事 (切土、盛土、堤防等工事)		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																											
	<input type="checkbox"/> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締め目が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付けを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締め目を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由: <input type="checkbox"/> 内容を記載	① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																	
削除する項目にレ点		●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。				●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																
3. 出来形及出来ばえ	③ 護岸・根固・水制工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないように十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しがないように行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工にあたって、床掘箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> その他 理由: <input type="checkbox"/>																																						
	削除する項目にシ点	<p>●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにシ点)</p> <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。																																						
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合には e 評価とする。                 </div>																																						
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>						ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能																																			
	50%以下	80%以下	80%を超える																																					
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																			
	60%未満	b'	c	c	c																																			

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及出来ばえ	④ 鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準じる。堰水門等工場製作を含む)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																										
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <p>【工場製作関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗料の空き缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。</li> <li>その他 理由:</li> </ul> <p>↑ 内容を記載</p> <p>削除する項目にシ点</p> <p>【架設関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ボルトの締め付け確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチップング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 架設に用いる仮設備及び架空用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場塗装部ケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。</li> <li>その他 理由:</li> </ul> <p>↑ 内容を記載</p> <p>削除する項目にシ点</p> <p>●ばらつき程度(該当する項目ひとつにシ点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。</li> </ul>																																		
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 当該項目数 / 評価対象項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p>																																		
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及 出来ばえ	⑤ 砂防構造物 及び 地滑り防止工事 (集水井工事を 含む)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>																												
II. 品質		<p>●評価対象項目 【共通】</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練を行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のパイプレーターの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適合しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載</p> <p>↑ 削除する項目にシテ点</p> <p><input type="checkbox"/> 【砂防構造物に適用】</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> アンカーの施工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載</p> <p>↑ 削除する項目にシテ点</p> <p><input type="checkbox"/> 【地滑り対策工事(抑止杭・集水井戸工事含む)】</p> <p><input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載</p> <p>↑ 削除する項目にシテ点</p> <p>●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにシテ点)</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。</p>																																			
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p>					<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	



考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及出来ばえ	⑥ 舗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																											
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <p>【路床・路盤工関係】</p> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締め固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載																																			
		<p>削除する項目にシ点</p> <p>【アスファルト舗装工関係】</p> <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、上層路盤の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載																																			
		<p>削除する項目にシ点</p> <p>【コンクリート舗装工関係】</p> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先立って、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料が分離しないようコンクリートを数均していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載																																			
		<p>削除する項目にシ点</p> <p>●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにシ点)</p> <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。																																			
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                  ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 評価値(%)=当該項目数( )/評価対象項目数( )                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

検査項目別運用表

(検査員)

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及 出来ばえ	⑦ 法面工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>																											
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <p>【共通】</p> <p><input type="checkbox"/> 施工面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係)</p> <p><input type="checkbox"/> 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないよう、排水対策を実施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載</p> <p>↑ 削除する項目にシ点</p> <p><input type="checkbox"/> 【種子吹付け、客土吹付け、植生基材吹付工関係】</p> <p><input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載</p> <p>↑ 削除する項目にシ点</p> <p><input type="checkbox"/> 【コンクリート又はモルタル吹付工関係】</p> <p><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 金網が破損を生じさせないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 吹付け厚が均等であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 吹付け厚に応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないように跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載</p> <p>↑ 削除する項目にシ点</p> <p><input type="checkbox"/> 【現場打法枠工関係(プレキャスト法枠工含む)】</p> <p><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するよう実施されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 枠内に空隙がないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 層間にはく離がないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないように跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由: 内容を記載</p> <p>↑ 削除する項目にシ点</p> <p>●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにシ点)</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。</p>																																		
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>																																		
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b	c	c	c																																

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及 出来ばえ	⑥ 基礎工事及び 地盤改良工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																											
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <p>【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒・場所打、深礎等)】</p> <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既成杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由: <input type="checkbox"/> 内容を記載																																			
	↑	削除する項目にシ点																																			
		<p>【地盤改良関係】</p> <input type="checkbox"/> 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由: <input type="checkbox"/> 内容を記載																																			
	↑	削除する項目にシ点																																			
		<p>●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにシ点)</p> <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。																																			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </div>																																			
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及出来ばえ	⑨ コンクリート橋上部工事 (PC及びRCを対象)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
II. 品質	<input type="checkbox"/> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。  <input type="checkbox"/> コンクリートの受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び曇中コンクリート等を含む)  <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着していないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペースの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 理由: <input type="checkbox"/> 内容を記載																																			
	削除する項目にレ点 <input type="checkbox"/> ●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。            ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。            ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( )            ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ●判断基準           <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>           注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。         </div>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
		50%以下	80%以下	80%を超える																																
評価値	90%以上	a	a'	b	b																															
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
	60%未満	b'	c	c	c																															

調査項目別運用表

(検査員)

調査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及出来ばえ  II. 品質	⑩ 塗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
		<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗装面を十分な乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 天候条件の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 その他理由： 内容を記載																																		
削除する項目にレ点		<p>●ばらつき程度(該当する項目ひとつにレ点)</p> <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。					<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打設点等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
⑪ トンネル工事		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹きつけコンクリートの配合及びロックボルトの種類、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた岩部分(支保工パターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の継目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹きつけコンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿润状態で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継目が同一線上で施工していることが確認できる。 その他理由： 内容を記載																																				
削除する項目にレ点		<p>●ばらつき程度(該当する項目ひとつにレ点)</p> <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。					<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打設点等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及 出来ばえ  II. 品質	⑫ 植栽工事  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ↑ 削除する項目にレ点	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照							品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																										
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木などに損傷、はちくずれ等がないよう保護養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工完了後、余刺枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹名板を視認しやすい場所に据え付けていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： 内容を記載				① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合には c 評価とする。																														
		●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。				●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
⑬ 造園工事		a	a'	b	b'	c	d	e																												
		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照							品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																										
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 材料の品質及び形状が設計図書との適切性確認ができ証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 製品の品質及び形状が設計図書との適切性確認ができ証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 遊戯施設等の機能と安全性が設計図書等との適切性確認ができ証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 植物、公園資材等による修景効果向上についての配慮が事前に十分検討され良好な施工が伺える。 <input type="checkbox"/> 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく、活着管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> その他 理由： 内容を記載				① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合には c 評価とする。																														
		●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。				●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e				
3. 出来形及 出来ばえ	⑮ 下水道管路 工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、監督職員が文書で指示 を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、検査職員が修補指示を 行った。		
		●評価対象項目 管渠(管布設・矩形渠布設・シールド)工において、勾配管低高等の成果が整理されており、目立った屈曲や沈下がない。 管渠工において、継手部及びマンホール連結部の目地仕上げが適正になされ、漏水個所がない。 裏込注入は注入結果の記録が整理され、裏込め施工の状況が確認できる。 薬液注入工は改良範囲及び注入量が工事記録により確認できる。 足掛金物・中間スラブ・内副管等の設置が適正であり、鉄蓋設置においては路面との調整も適正である。 マンホールの各種ブロックは内面を一致させ垂直に据え付けられ、水密性が確保されている。 インパートは、形状・勾配・表面仕上げ等が適正である。 樹の天端は周囲地盤になじんでおり、適正な復旧仕上がりをしてしている。 樹の取付管は、理由のない屈曲や目立った沈下もなく、適切な管口処理がなされている。 掘削時の土留めが適切に設置され、地山が安定しているかが確認できる。 掘削地盤面以下を乱さないように施工している。 埋戻しにおいて、埋設位置明示のうえ、適切な条件で締固めをしている。 仮復旧及び本復旧の路盤及び表層・基層は、仕様書とおり施工され管理されている。 側溝・縁石・柵・標識等の道路付属物の復旧が適切に行われている。 その他 理由: 内容を記載										
II. 品質	削除する項目にレ点	●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。		●判断基準			
		評価値		ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能						
		90%以上	a	a'	b	b'						
		75%以上90%未満	a'	b	b'	c						
		60%以上75%未満	b	b'	c	c						
		60%未満	b'	c	c	c						
注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。												
⑯ 下水道更生 工事	削除する項目にレ点	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、監督職員が文書で指示 を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、検査職員が修補指示を 行った。		
		●評価対象項目 事前調査において既設管内の布設状況、障害物及び漏水等の状況を十分に把握し、施工を行っている。 事前処理により、施工時には支障のないよう適切な措置を施している。 仕上がり管体内面には、ふくれ、しわ、扁平、破損等がなく、基準を満足している。 マンホール連結部の仕上がりが良い。 取付管口の仕上がりが良い。 施設内に漏水がない。 施工後の管内は、土砂・汚物等の堆積等がない。 硬化性樹脂材を使用する場合、硬化時の時間及び温度管理が適切に行われている。また、製管材を使用する場合、裏込材の注入量の記録管理が適切に行われている。 その他 理由: 内容を記載										
		●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。		① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。		●判断基準						
		90%以上	a	a'	b	b'						
		75%以上90%未満	a'	b	b'	c						
		60%以上75%未満	b	b'	c	c						
		60%未満	b'	c	c	c						
注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。												

審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																										
3. 出来形及 出来ばえ	① 水路・側溝等 (コンクリート二次製 品)工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、監督職員が文書で指示 を行い改善された。	<input type="checkbox"/>																									
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     ●評価対象項目  <input type="checkbox"/> 製品の種類、形状寸法、強度は設計図書等のとおりである。  <input type="checkbox"/> 製品に有害なひび割れ、損傷等の欠点はない。  <input type="checkbox"/> 床堀仕上がり面は不陸がなく、また、湧水、滞水処理がしっかりと成されている。  <input type="checkbox"/> 埋め戻し土の転圧を入念に行っている。  <input type="checkbox"/> その他 理由:                      内容を記載                 </div>																																
		●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。																																
II. 品質	↑ 削除する項目にレ点	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%)=当該項目数( )/評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合には c 評価とする。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">                     ●判断基準  <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width:5%;">評 価 値</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2" style="width:5%;">ばらつきで 判断不可能</th> </tr> <tr> <th style="width:15%;">50%以下</th> <th style="width:15%;">80%以下</th> <th style="width:15%;">80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">90%以上</td> <td style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">a'</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">b</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">75%以上90%未満</td> <td style="text-align: center;">a'</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">b'</td> <td style="text-align: center;">b'</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">60%以上75%未満</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">b'</td> <td style="text-align: center;">c</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">60%未満</td> <td style="text-align: center;">b'</td> <td style="text-align: center;">c</td> <td style="text-align: center;">c</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> </tbody> </table>                     注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。                 </div>					評 価 値	ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
	評 価 値	ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																													
		50%以下	80%以下	80%を超える																														
90%以上	a	a'	b	b																														
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																														
60%以上75%未満	b	b'	c	c																														
60%未満	b'	c	c	c																														
3. 出来形及 出来ばえ	⑭ 防護柵(網)・ 標識・区画線等設 置工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、監督職員が文書で指示 を行い改善された。	<input type="checkbox"/>																									
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     ●評価対象項目  <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標識設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 防護柵等の床堀りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 基礎設置箇所において地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> ガードケーブルを支柱に取り付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。  <input type="checkbox"/> ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。  <input type="checkbox"/> ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びほりを取り除いて行っていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 区画線を消去した場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> その他 理由:                      内容を記載                 </div>																																
		●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。																																



考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及 出来ばえ	⑱ 電線共同溝工 事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照					<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																											
II. 品質		<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： <div style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">内容を記載</div>																																			
	削除する項目にレ点	<p>●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点)</p> <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。																																			
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                      ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c 評価とする。</p>																																			
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打設点等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																			

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及 出来ばえ  II. 品質	②0 維持工事 (清掃工、除草工 付属工、除雪、 応急処理等)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<ばらつき判断基準は別紙-4参照> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 内容を記載  <input type="checkbox"/> 内容を記載  <input type="checkbox"/> 内容を記載  <input type="checkbox"/> 内容を記載  ↑ ●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。  注 記載の4項目を必須の対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
	評価項目を追加した場合はレ点							
	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
	21 修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋防 止等)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<ばらつき判断基準は別紙-4参照> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 内容を記載  <input type="checkbox"/> 内容を記載  <input type="checkbox"/> 内容を記載  <input type="checkbox"/> 内容を記載  ↑ ●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。  注 記載の4項目を必須の対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
	評価項目を追加した場合はレ点							

検査項目別運用表

検査項目	工種	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<ばらつき判断基準は別紙-4参照>					品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない		
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	⑩ 機械設備工事	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;ばらつき判断基準は別紙-4参照&gt;</p> <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 完成図書(取扱説明書)に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> パルプ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</li> </ul> <p>その他 内容を記載</p> <p>●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。</li> </ul>					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	削除する項目にレ点		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p>					
22 電気設備工事	工種	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;ばらつき判断基準は別紙-4参照&gt;</p> <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 製作着事前に、品質や性能の確保に係る技術検討が実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫して作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。</li> </ul> <p>その他 内容を記載</p> <p>●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。</li> </ul>					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	削除する項目にレ点		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。</p>					

考查項目別運用表

(検査員)

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	23 シールド工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<ばらつき判断基準は別紙-4参照> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> シールド機械の製作に当たっては、製作図及び諸機能等の詳細図及び仕様並びに応力計算書を監督職員に提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧気を併用する場合あらかじめ路線付近の井戸、ボーリング孔等の状態を調査し必要な処置を講じていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削量が所定の量を維持しているか管理していることが確認できる。シールド掘進作業等がデータで確認できる。 <input type="checkbox"/> シールド掘進中、シールドの蛇行及び回転の傾向を観測しながら施工していた。 <input type="checkbox"/> セグメントの継ぎ手部にシール材を施しているか確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込め注入結果の記録が整理され、裏込め施工の状況が確認できる。 <input type="checkbox"/> 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行なっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2次覆工コンクリート打設に先立って、セグメントのボルト締め直し及び清掃等を行なっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 常に切羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 内容を記載					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
	削除する項目にシ点	●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにシ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。					① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は e 評価とする。	

審査項目別運用表

(検査員)

3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	24 上記以外の工事(情報ボックス、浚渫工事等)又は合併工事	<b>「A」</b>	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の評価に該当しない																																
		<input type="checkbox"/>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断基準は別紙-4参照						<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																											
		<b>「B」</b>	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内容を記載 削除する項目にレ点 ↓																																				
			●判断基準 「A」対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事 ex) 浚渫工、取壊し工 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			「B」対象工事がばらつきによる評価が適切な工事 ① 削除項目がある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ② 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。																																	
			●ばらつきの程度(該当する項目ひとつにレ点) <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下と判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超えると判断できる。 <input type="checkbox"/> ばらつきによる判断は不可能である。																																				
								<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">ばらつきで判断可能</td> <td>ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c'</td> </tr> </table>		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能		50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b		75%以上90%未満	a'	b	b'		60%以上75%未満	b	b'	c		60%未満	b'	c	c'	
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																			
	50%以下	80%以下	80%を超える																																				
評価値	90%以上	a	a'	b																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c																																			
	60%未満	b'	c	c'																																			

注:配管工事の「出来形」「品質」「出来ばえ」の検査項目は別シートにあります。

検査項目別運用表

※「成績評定工程選択表及び結果表」の、判定入力欄に入力したデータは、この帳票には反映されません。

全体評価(選択した工種全体の評価)		a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d 劣っている
検査項目	工種	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d 劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	① コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 トンネル工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	② 土工事 (盛土・築堤工事等)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけなどが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	③ 切土工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	④ 護岸・根固・水制工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	⑤ 鋼橋工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 表面に補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	⑥ 地すべり防止工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目・・・d	

考査項目別運用表

考査項目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	⑦ 舗装工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	⑧ 法面工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目・・・d	
	⑨ 基礎工事 (地盤改良等を含む)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部及び天端の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 ※地盤改良はc評価とする。		●判断基準 該当4項目・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目・・・d	
	⑩ コンクリート橋上部工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	⑪ 塗装工事 (工場塗装除く)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	⑫ 植栽工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目・・・d	

検査項目別運用表

検査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	⑬ 造園工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 施設構造物の肌、通り等仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施設構造物の収まりが良い。 <input type="checkbox"/> 遊具等の作動が安全でかつ良好に作動する。 <input type="checkbox"/> 園路等の舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかに施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な景観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	⑭-1 防護柵工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかに施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	⑭-2 標識工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 標識板の支柱に変色が無い。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	⑭-3 区画線工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	⑮ 下水道管路工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 沈下がなく仮舗装の平坦性がよい。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 漏れない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。(管路及びマンホールの内部・本復旧の仕上がり等)		●判断基準 該当4項目・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目・・・d	
	⑯ 下水道更生工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 管体内面の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 管体内面の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。		●判断基準 該当4項目・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目・・・d	



検査項目別運用表

検査項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	⑰ 水路・側溝等(コンクリート二次製品)工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全般的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目……a 該当3項目……b 該当2項目……c 該当1項目……d	
	⑱ 機械設備工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上……a 該当3項目……b 該当2項目……c 該当1項目以下……d	
	21 電気設備工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上……a 該当4項目……b 該当3項目……c 該当2項目以下……d	
	⑳ 維持修繕工事 維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理工) 修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 小構造物等にも注意が払われている。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目……a 該当3項目……b 該当2項目……c 該当1項目……d	

考查項目別運用表

考查項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	⑱ 電線共同溝工事	<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されてプレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		<b>●判断基準</b> 該当4項目……a 該当3項目……b 該当2項目……c 該当1項目……d	
	22 シールド工事	<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		<b>●判断基準</b> 該当5項目以上……a 該当4項目……b 該当3項目……c 該当2項目以下……d	
	24 上記以外の工事又は合併工事	<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由：		<b>●判断基準</b> 該当4項目以上……a 該当3項目……b 該当2項目……c 該当1項目以下……d	
		※該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。			

考查項目別運用表

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ  <u>I. 出来形</u>	上水道配管工事          ↑ 削除する項目にレ点	(評価対象項目) <input type="checkbox"/> 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と調整の上管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 要求した完成図等が適切にまとめられており、確認出来る。 <input type="checkbox"/> 配水管付属設備等の出来形が要求を満足するものである。 <input type="checkbox"/> 出来形について確認出来る記録・資料等が整っている。 <input type="checkbox"/> その他 内容を記載  ※ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ※ 適合率が90%以上……………a ※ 適合率が80%以上～90%未満…a' ※ 適合率が70%以上～80%未満…b ※ 適合率が60%以上～70%未満…b' ※ 適合率が60%未満……………c					<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

考査項目別運用表

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
	24上水道配管工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指をを行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
3. 出来形及び出来ばえ		<p>●評価対象項目 (共通)</p> <p><input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書等が整備され、設計図書の品質を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理試験が適切に実施され記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 管の明示(明示テープ・明示シート)の施工が適切に実施されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> スリーブ被覆工及び分水部の外面防食が適切に実施されていることが確認出来る。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄蓋設置においては、構造物に堅固に取り付けられ、かつ路面との調整も適正である。</p> <p><input type="checkbox"/> 弁室・栓室等は、有害なひび割れ、損傷等の欠点はない。</p> <p><input type="checkbox"/> 埋戻しについて、仕様書どおり適切に施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 切管の有効長及び管の接合(ダクタイル鑄鉄管においてはライナの設置を含む)について、仕様書どおり適切に施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 継手の施工が適切に管理されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 給水装置切替工事は、設計図書に基づき給水装置工事施行要領を遵守し施工している。</p> <p><input type="checkbox"/> 止水栓筐、メーターますの設置においては、地面との調整が適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> 仮復旧及び本復旧の路盤及び表層・基層は、仕様書どおり適切に施工され管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 側溝・縁石・柵・標識等の道路付属物の復旧が適切に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p style="background-color: #f4a460;">内容を記載</p> <p>(推進)</p> <p><input type="checkbox"/> 推進管の推進精度が確保されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 配水管と推進管との空隙への充填材料・施工状況・充填度が適切であることが確認できる</p> <p><input type="checkbox"/> 薬液注入工は改良範囲及び注入量が工事に係る打合せ簿等により適切であることが確認出来る。</p> <p><input type="checkbox"/> 立坑は設計図や仕様書に沿って適切に施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p style="background-color: #f4a460;">内容を記載</p> <p>(溶接・塗装・防凍)</p> <p><input type="checkbox"/> 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認出来る。</p> <p><input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む)</p> <p><input type="checkbox"/> 防凍工が設計図書に基づき行われていることが確認出来る。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p style="background-color: #f4a460;">内容を記載</p>						
	↑ 削除する項目にシ点	<p>※ 評価対象項目数が2項目以下の場合にc評価とする。</p> <p>※ 適合率が 90%以上……………a</p> <p>※ 適合率が 80%以上～90%未満…a'</p> <p>※ 適合率が 70%以上～80%未満…b</p> <p>※ 適合率が 60%以上～70%未満…b'</p> <p>※ 適合率が 60%未満……………c</p>						

考查項目別運用表

考查項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ <a href="#">Ⅲ. 出来ばえ</a>	23 上水道配管工事 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 施工管理の記録等から、不可視部分の出来映えの良さが確認できる。</li><li><input type="checkbox"/> 弁室内の管の布設・接合の出来ばえが良好であることが確認できる。</li><li><input type="checkbox"/> 構造物(弁室・栓室等)の仕上げが良い。</li><li><input type="checkbox"/> 弁筐・弁室・栓室等とのスピンドルの位置・高さ合わせが良い。</li><li><input type="checkbox"/> 路面復旧において、既設構造物及び既設路面等との取り合いが良い。</li><li><input type="checkbox"/> 路面復旧の平坦性・全体的な美観が良い。</li><li><input type="checkbox"/> 止水栓・メーター・逆止弁等の設置において、ねじれ等が生じていない。</li><li><input type="checkbox"/> 宅地部の復旧は適切であり、周囲の地盤とのなじみも良く、美観が良い。</li><li><input type="checkbox"/> 部材表面に補修箇所、傷及び錆が無く、全体的な美観が良好であることが確認できる。(水管橋・添架)</li><li><input type="checkbox"/> 溶接・塗装の均一性が良好であることが確認できる。</li><li><input type="checkbox"/> その他</li></ul> <p>内容を記載</p> <p>※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>適合率が80%以上.....a</li><li>適合率が60%以上～80%未満.....b</li><li>適合率が40%以上～60%未満.....c</li><li>適合率が40%未満.....d</li></ul>			